



広島県 みよし市
三次市

夢と元気が
あふれみまう



「“限界集落”からの報告」

~このままでは明日が無い~



早稲田大学大学院
公共経営研究科 Cグループ

我々の問題意識

新三次市

旧八市町村の集合体
(1強7弱?)

地域間格差?

北部旧三村

各人口2千人

高い高齢化率

山間部



北部三村の
高齢者福祉の実態

三次の高齢化の状況

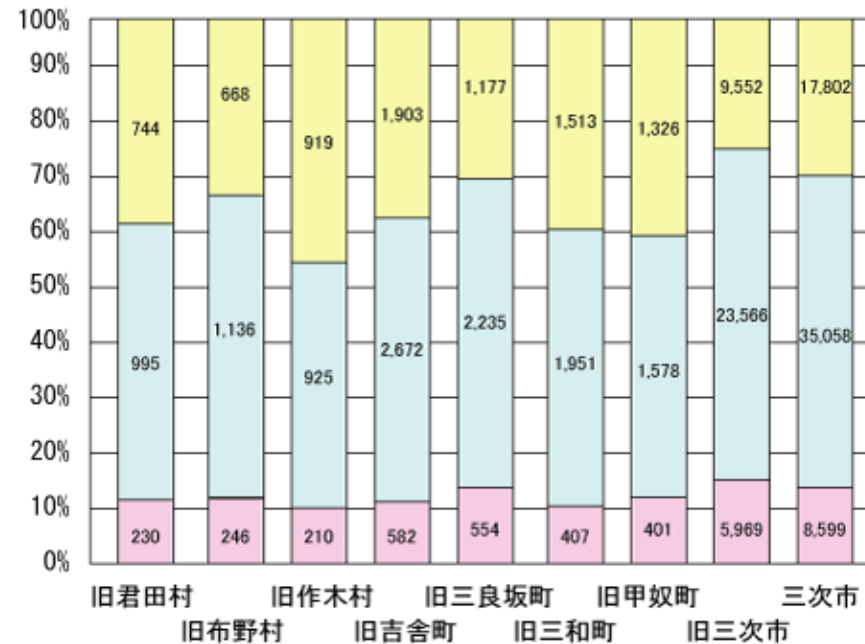
三次の高齢化率

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和	甲奴	三次	合計
37.8	32.6	44.7	36.9	30.0	39.1	40.1	24.4	29.0

単位%

北部三村
合計 38.4%

年齢階層別人口 (人) 65歳以上 15~64歳 15歳未満



旧作木村

下地区	54.4%
中地区	37.9%
上地区	47.2%

(平成15年4月1日現在)

“限界集落”とは

高齢化率が50%を超えた集落

生活道路の管理、葬祭など、共同体機能の急速低下

生きていくための「限界」となった集落



“限界集落”の実情 1

Aさん(83歳)・Bさん(73歳)夫妻の生活



“限界集落”の実情 2

Cさん(75歳・女性)の生活



“限界集落”を支える社会資源



“限界集落”にUターン

Dさん(71歳・男性)の活動



JR 三江線伊賀和志駅



吉岡広小路市長のマニフェスト

高齢者福祉施設の充実

《目標》

待機者解消のため、デイケア・グループホームの
増設や特養の増床を行ないます。
【平成19年度までに3ヶ所の施設増、特養30床増床】



《達成状況》

平成17年7月
平成17年10月

布野グループホーム
吉舎ケアハウス



総合計画 「みよし百年物語」 物語の主演は市民一人ひとりです

基本戦略

「認めあい、支えあう、福祉のまち宣言」

主要施策

認めあい、支えあう福祉の推進

住み慣れた地域で快適生活

一人ひとりの生きがいづくりの推進

私達が見聞きしたこと



「地域包括支援センター」完全直営の実現
市立三次中央病院内に本部体制確立
本部および7支部連携体制整備

私達が見聞きした現場の現実

「地域包括支援センター」各支部

支所に保健士一人
4月以降、支所では介護予防プラン作成に専念
従来の保健業務の停滞

布野グループホーム

ケアハウス吉舎

建設コスト大幅削減実施
指定管理者制度の導入(布野)
車椅子が入れないトイレも

総合計画 「みよし百年物語」 物語の主役は市民一人ひとりです

基本戦略

「認めあい、支えあう、福祉のまち宣言」

主要施策

認めあい、支えあう福祉の推進

住み慣れた地域で快適生活

一人ひとりの生きがいづくりの推進



吉岡市長の保健・福祉に対するビジョンとは？

【提言】小規模多機能サービスを核にする「集落自立型福祉」

小規模多機能サービスとは

2006年4月の介護保険法改正により新たに導入

地域まるごとに
「通い」「泊まり」「訪問」「居住」の機能を
複合的に組み合わせた小さな事業所

空民家
集落の集会所
自治交流センター 等

の再利用可能

「集落自立型福祉」イメージ図



更なる発展の可能性

小規模多機能サービスを中心に集まる人々から
新たな「揺らぎ」、「創発」が起きる

梅林

竹炭

そば

自然
体験

カヌー

観光振興

農業振興

教育振興



「北京の蝶々」の拡がり

ご清聴ありがとうございました。



作木支所前にて